



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月7日

上場会社名 株式会社立花エレテック 上場取引所 東  
 コード番号 8159 URL <http://www.tachibana.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊武雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営戦略室長 (氏名) 相澤忠範 (TEL) 06-6539-2718  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日 配当支払開始予定日 平成28年12月5日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	76,032	△4.3	2,250	△13.1	2,225	△18.8	1,541	△14.0
28年3月期第2四半期	79,460	18.3	2,590	15.9	2,739	1.0	1,792	△5.1

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 861百万円(△20.5%) 28年3月期第2四半期 1,083百万円(△58.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	60.52	—
28年3月期第2四半期	68.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	96,896	56,826	57.1
28年3月期	98,893	56,685	55.8

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 55,312百万円 28年3月期 55,186百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	12.00	—	14.00	26.00
29年3月期	—	13.00			
29年3月期(予想)			—	15.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	167,000	3.0	5,500	△2.1	5,600	△2.4	3,750	0.9	147.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	26,025,242株	28年3月期	26,025,242株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	785,543株	28年3月期	465,354株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	25,468,363株	28年3月期2Q	26,017,764株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・当社は、平成28年12月1日（木）に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、雇用や所得環境が改善するなど緩やかな回復基調にあるものの、円高や中国をはじめとするアジア新興国経済の減速による企業収益の影響から設備投資の伸び悩みなど足踏み状態が続いており、不透明感が更に強まっております。

当社企業グループにおきましては、売る力を強化する体質改善プロジェクト「C. A. P. U P 1 5 0 0」活動を推進するとともに、中長期経営計画「C. C. J 2 2 0 0」の基本戦略を推進するために、東京・名古屋を中心とした主要拠点の営業体制強化や、産業用ロボットを核としたシステムソリューションビジネスの推進にも鋭意取り組んでまいりました。

このような取り組みの中で、単体の売上高はほぼ横這いであったものの、海外子会社では円高が影響し減収となり、国内子会社においても一部商流変更の影響により減収となりました。これらの減収に伴う減益要因に加え、「C. C. J 2 2 0 0」推進のためにキャリア人材確保などの先行投資費用と為替差損の拡大も加わり、利益項目について減少いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高760億32百万円（前年同期比4.3%減）、営業利益22億50百万円（前年同期比13.1%減）、経常利益22億25百万円（前年同期比18.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益15億41百万円（前年同期比14.0%減）となりました。

セグメント別については以下のとおりであります。

#### 〔F A システム事業〕

売上高:398億71百万円（前年同期比0.6%増）、営業利益:16億3百万円（前年同期比17.0%減）

F A 機器分野は、インバーター及び表示器は堅調に推移したものの、プログラマブルコントローラー、A C サイボ及び配電制御機器が弱含みに推移いたしました。

産業機械分野は、レーザー加工機は伸長したものの、前期に政府の補助金活用により大幅に増加したワイヤカット放電加工機や工作機械は、その反動により大幅に減少いたしました。しかしながら、鉄鋼プラントなどの大口案件が寄与し、当事業全体の売上高は、前年同期比0.6%の増加となりました。

#### 〔半導体デバイス事業〕

売上高:223億85百万円（前年同期比11.8%減）、営業利益:5億85百万円（前年同期比2.1%減）

半導体分野は、国内においては民生分野向けのパワーモジュールや産業分野向けのアナログ I C が堅調に推移いたしました。一方、マイコンやO A 機器向けのロジック I C は減少し、海外においては円高の影響により半導体分野の売り上げが大きく減少いたしました。

電子デバイス分野は、O A 機器分野向け電子デバイスは伸長したものの、メモリーカードが大幅に減少し、当事業全体の売上高は、前年同期比11.8%の減少となりました。

#### 〔施設事業〕

売上高:56億88百万円（前年同期比1.5%減）、営業利益:54百万円（前年同期は7百万円の損失）

施設事業分野は、西日本における今夏の猛暑の影響もあり店舗用パッケージエアコンやルームエアコンが大幅に伸長するとともに、昇降機及び照明器は好調に推移いたしました。一方、トランス、受配電設備及び産業用太陽光発電設備が大幅に減少し、当事業全体の売上高は、前年同期比1.5%の減少となりました。

#### 〔産業デバイスコンポーネント事業〕

売上高:51億62百万円（前年同期比5.5%減）、営業利益:90百万円（前年同期比25.0%減）

産業デバイスコンポーネント事業分野は、タッチモニターとコンピューター関連機器は好調に推移いたしました。F A パソコンは大幅に減少し、また、子会社の主力製品であるコネクタも低調であったことから、当事業全体の売上高は、前年同期比5.5%の減少となりました。

〔その他〕

売上高:29億24百万円(前年同期比8.9%減)、営業損失:83百万円(前年同期は53百万円の損失)

MS事業分野は、産業用途向け電子機器製造受託の国内案件は堅調に推移いたしました。立体駐車場向けの金属部材が減少したことにより、その他事業全体の売上高は、前年同期比8.9%の減少となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、968億96百万円となり前連結会計年度末に比べ19億97百万円減少いたしました。

流動資産は、742億95百万円となり前連結会計年度末に比べ28億12百万円減少いたしました。この主な要因は、受取手形及び売掛金の減少21億21百万円によるものであります。

固定資産は、226億1百万円となり前連結会計年度末に比べ8億15百万円増加いたしました。この主な要因は、投資有価証券の増加9億50百万円によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、400億69百万円となり前連結会計年度末に比べ21億38百万円減少いたしました。

流動負債は、376億13百万円となり前連結会計年度末に比べ20億50百万円減少いたしました。この主な増減は、支払手形及び買掛金の減少8億12百万円であります。

固定負債は、24億56百万円となり前連結会計年度末に比べ87百万円減少いたしました。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、568億26百万円となり前連結会計年度末に比べ1億41百万円増加いたしました。この主な要因は、利益剰余金の増加11億83百万円、自己株式の取得による減少3億55百万円、為替換算調整勘定の減少7億31百万円によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の四半期末残高は、114億71百万円となり前連結会計年度末に比べ6億8百万円増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、24億48百万円の収入(前年同期は25億93百万円の収入)となりました。主な内容は税金等調整前四半期純利益22億41百万円、売上債権の減少額13億90百万円などの増加と法人税等の支払額9億49百万円などの減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、5億74百万円の支出(前年同期は28億4百万円の支出)となりました。主な内容は投資有価証券の取得による支出11億44百万円、投資有価証券の償還による収入2億円、有価証券の償還による収入3億円などであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、7億28百万円の支出(前年同期は3億16百万円の支出)となりました。主な内容は自己株式の取得による支出3億55百万円、配当金の支払額による支出3億58百万円などであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、平成28年5月12日に公表いたしました業績予想を据え置いております。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響額は、軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,168	13,413
受取手形及び売掛金	51,163	49,041
有価証券	402	100
たな卸資産	9,410	9,444
その他	3,010	2,341
貸倒引当金	△47	△45
流動資産合計	77,108	74,295
固定資産		
有形固定資産	5,836	5,727
無形固定資産	355	372
投資その他の資産		
投資有価証券	14,565	15,515
その他	1,109	1,068
貸倒引当金	△80	△83
投資その他の資産合計	15,593	16,500
固定資産合計	21,785	22,601
資産合計	98,893	96,896
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,119	31,306
短期借入金	1,660	1,669
未払法人税等	1,037	802
賞与引当金	1,148	995
その他	3,697	2,839
流動負債合計	39,664	37,613
固定負債		
長期借入金	84	67
退職給付に係る負債	812	765
その他	1,646	1,623
固定負債合計	2,543	2,456
負債合計	42,207	40,069

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,874	5,874
資本剰余金	5,971	5,971
利益剰余金	39,759	40,943
自己株式	△535	△891
株主資本合計	51,069	51,897
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,259	3,278
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	645	△85
退職給付に係る調整累計額	211	222
その他の包括利益累計額合計	4,116	3,415
非支配株主持分	1,499	1,513
純資産合計	56,685	56,826
負債純資産合計	98,893	96,896

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	79,460	76,032
売上原価	69,100	65,976
売上総利益	10,359	10,055
販売費及び一般管理費	7,769	7,805
営業利益	2,590	2,250
営業外収益		
受取利息	30	36
受取配当金	131	137
為替差益	11	—
その他	98	78
営業外収益合計	272	252
営業外費用		
支払利息	11	9
売上割引	94	85
為替差損	—	162
その他	18	19
営業外費用合計	123	277
経常利益	2,739	2,225
特別利益		
投資有価証券売却益	1	16
特別利益合計	1	16
特別損失		
固定資産売却損	4	—
固定資産除却損	5	—
投資有価証券評価損	0	—
特別損失合計	10	—
税金等調整前四半期純利益	2,729	2,241
法人税等	903	678
四半期純利益	1,826	1,562
非支配株主に帰属する四半期純利益	33	21
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,792	1,541

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	1,826	1,562
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△816	19
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	64	△731
退職給付に係る調整額	8	10
その他の包括利益合計	△742	△701
四半期包括利益	1,083	861
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,051	839
非支配株主に係る四半期包括利益	31	21

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,729	2,241
減価償却費	201	188
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△9	0
受取利息及び受取配当金	△161	△174
支払利息	11	9
為替差損益 (△は益)	5	45
売上債権の増減額 (△は増加)	3,756	1,390
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△418	△242
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,619	270
その他	△78	△514
小計	3,416	3,216
利息及び配当金の受取額	169	192
利息の支払額	△11	△10
法人税等の支払額	△980	△949
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,593	2,448
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額 (△は増加)	△1,875	143
有価証券の取得による支出	△100	-
有形固定資産の取得による支出	△38	△54
有形固定資産の売却による収入	26	-
投資有価証券の取得による支出	△1,017	△1,144
投資有価証券の売却による収入	101	26
有価証券の償還による収入	150	300
投資有価証券の償還による収入	-	200
その他	△51	△45
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,804	△574
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△4	20
長期借入金の返済による支出	△38	△21
自己株式の純増減額 (△は増加)	△4	△355
配当金の支払額	△261	△358
非支配株主への配当金の支払額	△6	△7
その他	△1	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△316	△728
現金及び現金同等物に係る換算差額	56	△538
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△471	608
現金及び現金同等物の期首残高	12,935	10,863
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,464	11,471

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FAシステム 事業	半導体デバ イス事業	施設事業	産業デバイ スコンポー ネント事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	39,637	25,374	5,775	5,462	76,249	3,210	79,460	—	79,460
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	39,637	25,374	5,775	5,462	76,249	3,210	79,460	—	79,460
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失(△))	1,932	598	△7	121	2,644	△53	2,590	—	2,590

(注) 「その他」の内容は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「ソリューション事業」及び「MS事業」を含んでおります。

当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FAシステム 事業	半導体デバ イス事業	施設事業	産業デバイ スコンポー ネント事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	39,871	22,385	5,688	5,162	73,107	2,924	76,032	—	76,032
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	39,871	22,385	5,688	5,162	73,107	2,924	76,032	—	76,032
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失(△))	1,603	585	54	90	2,333	△83	2,250	—	2,250

(注) 「その他」の内容は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「ソリューション事業」及び「MS事業」を含んでおります。